平成31年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年２月５日

上 場 会 社 名　シップヘルスケアホールディングス株式会社　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　3360　URL http://www.shiphd.co.jp/
代　表　者　(役職名)　代表取締役会長 CEO　(氏名)　古川　國久
問合せ先責任者　(役職名)　常務取締役　(氏名)　横山　裕司　(TEL) 06-6369-0130
四半期報告書提出予定日　平成31年２月８日　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成31年３月期第３四半期の連結業績（平成30年４月１日～平成30年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年３月期第３四半期	317,109	5.3	10,496	△9.2	10,991	△8.6	6,607	△5.7
30年３月期第３四半期	301,012	6.0	11,554	26.5	12,023	25.0	7,003	33.4

(注) 包括利益 31年３月期第３四半期　5,683百万円(△30.4%)　30年３月期第３四半期　8,166百万円(　37.5%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
31年３月期第３四半期	132.55	131.28
30年３月期第３四半期	138.42	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年３月期第３四半期	285,248	91,751	31.4
30年３月期	285,181	102,354	35.0

(参考) 自己資本 31年３月期第３四半期　89,445百万円　30年３月期　99,880百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
30年３月期	―	0.00	―	64.00	64.00
31年３月期	―	0.00	―		
31年３月期(予想)				64.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成31年３月期の連結業績予想（平成30年４月１日～平成31年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	440,000	3.4	17,500	△4.2	17,800	△6.0	10,500	1.4	212.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年３月期３Ｑ	50,834,700株	30年３月期	50,834,700株
②　期末自己株式数	31年３月期３Ｑ	3,204,489株	30年３月期	235,568株
③　期中平均株式数（四半期累計）	31年３月期３Ｑ	49,847,419株	30年３月期３Ｑ	50,599,132株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・平成31年３月期の連結業績予想の１株当たり当期純利益の計算の基礎となる期中平均株式数につきましては、平成30年５月11日開催の取締役会決議及び平成30年11月27日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得による影響を反映させております。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8
（追加情報） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益が堅調に推移するとともに、雇用情勢や個人所得が順調に拡大し、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で米中の貿易摩擦や、英国のＥＵ離脱問題・仏国の暴動など欧米・中国を中心に政治的・経済的に不安定な状態が続いております。

当社グループの属する医療業界におきましては、昨年４月に実施された診療報酬改定が全体としてマイナス改定であったことから、医療機関・業界各社において中長期的に幅広い連携や効率的な業務体制の構築が求められております。

このような経済状況の下、当社グループにおきましては、トータルパックプロデュース事業におけるプロジェクト案件が順調に推移し、ライフケア事業におきましても入居率が順調に積み上がりました。また、昨年10月より治療を開始した大阪重粒子線センターは当初想定を上回る患者予約数となったことから、２室目の治療室の稼働を前倒しでスタートいたしました。一方で、一部メーカー系は低調に推移いたしました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は317,109百万円（前年同四半期連結累計期間比5.3％増）、営業利益は10,496百万円（前年同四半期連結累計期間比9.2％減）、経常利益は10,991百万円（前年同四半期連結累計期間比8.6％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,607百万円（前年同四半期連結累計期間比5.7％減）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

①トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、プロジェクト案件が順調に推移いたしました。また、大阪重粒子線センターの治療開始に伴う治療装置の減価償却費が増加いたしましたが、患者数は想定を上回り順調なスタートとなりました。一方で、一部メーカー系は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は60,762百万円（前年同四半期連結累計期間比0.7％減）、セグメント利益（営業利益）は4,329百万円（前年同四半期連結累計期間比27.8％減）となりました。

②メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、償還価格改定の影響により、特定保険医療材料の販売における利益確保は厳しい状況で推移いたしましたが、ＳＰＤ施設運営の効率化等により概ね計画通り進捗いたしました。

この結果、売上高は215,681百万円（前年同四半期連結累計期間比7.7％増）、セグメント利益（営業利益）は3,112百万円（前年同四半期連結累計期間比15.2％増）となりました。

③ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、介護報酬改定があったものの、入居率の積み上げが進み、堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は17,751百万円（前年同四半期連結累計期間比5.1％増）、セグメント利益（営業利益）は1,310百万円（前年同四半期連結累計期間比87.6％増）となりました。

④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、新規店舗の出店や小規模のＭ＆Ａ等により店舗数が増加するとともに、継続的な経営改善を実施いたしましたが、調剤報酬改定の影響を受け、厳しい状況で推移いたしました。

この結果、売上高は19,086百万円（前年同四半期連結累計期間比0.5％減）、セグメント利益（営業利益）は1,551百万円（前年同四半期連結累計期間比26.9％減）となりました。

⑤その他

その他におきましては、動物病院の運営およびセキュリティーサポート会社の業績が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は3,828百万円（前年同四半期連結累計期間比8.3％増）、セグメント利益（営業利益）は352百万円（前年同四半期連結累計期間比82.8％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の資産は285,248百万円となり、前連結会計年度末と比べて67百万円増加いたしました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が15,720百万円減少した一方、現金及び預金が11,743百万円、投資有価証券が4,835百万円、商品及び製品が3,786百万円増加したこと等によるものであります。

負債は193,496百万円となり、前連結会計年度末と比べて10,670百万円増加いたしました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が8,877百万円、未払法人税等が3,793百万円減少した一方、新株予約権付社債が25,122百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は91,751百万円となり、前連結会計年度末と比べて10,602百万円減少いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が6,607百万円増加した一方、自己株式を12,999百万円取得し、配当金の支払により利益剰余金が3,238百万円減少したこと等によるものであります。

以上の結果、当第３四半期連結会計期間末の自己資本比率は31.4％（前連結会計年度末比3.6ポイント減）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、平成30年５月11日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成30年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成30年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,644	71,388
受取手形及び売掛金	99,090	83,370
電子記録債権	3,427	3,054
リース投資資産	3,873	3,724
商品及び製品	13,076	16,862
仕掛品	1,269	2,175
原材料及び貯蔵品	605	902
その他	10,547	9,169
貸倒引当金	△86	△96
流動資産合計	191,448	190,550
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,647	19,018
土地	15,556	14,010
建設仮勘定	4,428	845
賃貸不動産（純額）	13,395	13,237
その他（純額）	2,743	6,720
有形固定資産合計	55,770	53,834
無形固定資産		
のれん	10,650	9,662
その他	1,129	1,045
無形固定資産合計	11,780	10,707
投資その他の資産		
投資有価証券	7,862	12,698
長期貸付金	9,870	9,604
その他	10,984	10,382
貸倒引当金	△2,536	△2,529
投資その他の資産合計	26,181	30,156
固定資産合計	93,732	94,698
資産合計	285,181	285,248

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成30年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成30年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,716	79,839
電子記録債務	21,786	20,889
短期借入金	2,970	1,640
未払法人税等	4,745	951
賞与引当金	1,966	927
その他	17,740	15,048
流動負債合計	137,925	119,296
固定負債		
新株予約権付社債	―	25,122
長期借入金	36,765	40,849
退職給付に係る負債	2,706	2,783
資産除去債務	619	626
その他	4,809	4,818
固定負債合計	44,900	74,200
負債合計	182,826	193,496
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	23,948	23,948
利益剰余金	58,374	61,743
自己株式	△448	△13,447
株主資本合計	97,428	87,797
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,596	1,760
為替換算調整勘定	△92	△93
退職給付に係る調整累計額	△52	△19
その他の包括利益累計額合計	2,451	1,647
非支配株主持分	2,474	2,306
純資産合計	102,354	91,751
負債純資産合計	285,181	285,248

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成29年４月１日 至　平成29年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成30年４月１日 至　平成30年12月31日）
売上高	301,012	317,109
売上原価	267,985	285,144
売上総利益	33,026	31,965
販売費及び一般管理費	21,472	21,468
営業利益	11,554	10,496
営業外収益		
受取利息	236	216
受取配当金	124	135
負ののれん償却額	174	174
持分法による投資利益	39	20
貸倒引当金戻入額	8	6
その他	256	241
営業外収益合計	840	794
営業外費用		
支払利息	189	195
社債発行費	－	26
為替差損	9	－
その他	172	77
営業外費用合計	371	299
経常利益	12,023	10,991
特別利益		
固定資産売却益	4	58
事業譲渡益	20	－
その他	0	－
特別利益合計	25	58
特別損失		
固定資産売却損	3	0
減損損失	48	－
固定資産除却損	28	1
投資有価証券評価損	113	33
その他	3	－
特別損失合計	197	35
税金等調整前四半期純利益	11,852	11,013
法人税、住民税及び事業税	3,957	3,390
法人税等調整額	792	1,138
法人税等合計	4,749	4,528
四半期純利益	7,102	6,484
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	98	△122
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,003	6,607

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成29年４月１日 至　平成29年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成30年４月１日 至　平成30年12月31日）
四半期純利益	7,102	6,484
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,105	△836
為替換算調整勘定	△46	1
退職給付に係る調整額	4	33
その他の包括利益合計	1,064	△801
四半期包括利益	8,166	5,683
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,108	5,803
非支配株主に係る四半期包括利益	58	△119

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成30年５月11日開催の取締役会決議及び平成30年11月27日開催の取締役会決議に基づき、普通株式734,300株及び普通株式2,234,600株の取得を行っております。この結果、当第３四半期連結累計期間において、自己株式が12,999百万円増加し、当第３四半期連結会計期間末において自己株式が13,447百万円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成29年４月１日　至　平成29年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	トータルパックプロデュース事業	メディカルサプライ事業	ライフケア事業	調剤薬局事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	61,219	200,175	16,894	19,188	297,478	3,533	301,012	－	301,012
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,091	859	447	1,858	4,256	75	4,332	△4,332	－
計	62,311	201,035	17,341	21,046	301,735	3,609	305,344	△4,332	301,012
セグメント利益	6,000	2,701	698	2,122	11,523	192	11,716	△161	11,554

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△161百万円には、セグメント間取引消去△5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△107百万円、未実現利益の調整額△47百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第３四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成30年４月１日　至　平成30年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	トータルパックプロデュース事業	メディカルサプライ事業	ライフケア事業	調剤薬局事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	60,762	215,681	17,751	19,086	313,281	3,828	317,109	－	317,109
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,466	894	139	1,404	3,903	190	4,094	△4,094	－
計	62,228	216,575	17,890	20,490	317,185	4,018	321,203	△4,094	317,109
セグメント利益	4,329	3,112	1,310	1,551	10,303	352	10,656	△159	10,496

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△159百万円には、セグメント間取引消去△65百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△96百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第３四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

（追加情報）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号　平成30年２月16日）等を第１四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。